

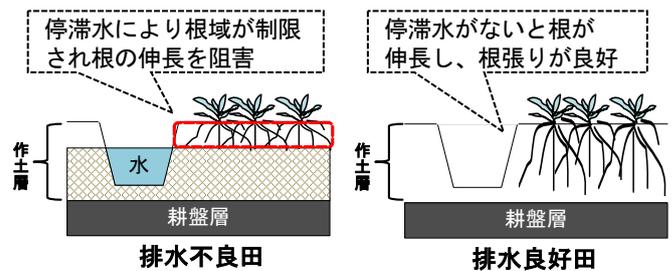
大麦特報 第3号

令和6年4月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

本年は積雪日数が少なく、暖冬傾向だったため、平年より生育は早くなっています。10月上中旬播種の場合、出穂期は4月12日～14日頃の見込みです。今後の気象や生育状況を確認のうえ、赤かび病の適期防除を必ず行いましょう。

1. 排水対策

水が停滞しているほ場が多くみられます。ほ場の排水状況を点検し、排水溝の手直しを行うとともに、深く掘り下げた排水口への連結を徹底しましょう。



2. 赤かび病の防除

検査規格における赤かび粒の混入限度は0.0%です。ほ場ごとの出穂状況を必ず確認し、最も効果的である穂揃期（開花始め）とその7日後の2回防除を確実に実施しましょう。

【防除時期及び農薬名】

| 時期 | 1回目 | 2回目 |
|----|------------------------------------|-----------------------------------|
| | 穂揃期（開花始め） 4月15日～17日頃（※10月上中旬播種） | 1回目から7日後 |
| 液剤 | トップジンM水和剤 （1,000倍液 150ℓ/10a） | ワークアップフロアブル （2,000倍液 150ℓ/10a） |

※防除適期に降雨が多い場合でも、短い晴れ間を利用して確実に防除をしましょう。

※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、防除は風の弱い時間帯に行いましょう。

3. カラスノエンドウ等の除去

カラスノエンドウ等の種子は機械選別が困難であり、異物混入の原因となります。

ほ場内に侵入してからの除去は労力を要するため、ほ場周辺でカラスノエンドウやハマダイコンを見かけたらすぐに除去しましょう。



カラスノエンドウ

ハマダイコン

春の農作業安全確認運動 3月1日～5月31日

春の農繁期は農作業事故が発生しやすい季節です。農場や用水路の危険箇所の把握・改善や余裕をもった作業計画など、事故を未然に防止する対策を徹底しましょう。